

トピックス

「鳥取まちなかぶらり」のすすめ

Part II

中住明史

昨年の5月に、この遷喬まちづくり通信に投稿させていただきましたが、今回はPart IIとしてポイントを絞って紹介致します。

鳥取市民、いやいや日本人なら小さいころから絶対に誰もが知っている童謡唱歌「ふるさと」は、作詞 高野辰之さん、作曲 岡野貞一さんですが、岡野さんは鳥取市の出身です。この二人で多くの童謡唱歌を作っています。

わらべ館には色々資料もあります。遷喬地区の若桜橋から智頭橋の間には記念碑があるのをご存じですか。「きなんせ広場の真ん中に「うさぎ追いしかの山こぶな釣りしかの川」のモチーフ像が建っています。



ふるさとの歌の道として29基の石碑が並べられています。ご年配の方は「知っているわい」とおっしゃると思いますが今の小学生、園児にぜひ伝えてください。

そして若桜橋から30m入ったところに「メロディーボックス」があります。「ふるさと」「大こくさま」「春の小川」「はなさかじじい」の4曲が聴けます。

なんと「はなさかじじい」を歌っているのは、遷喬小学校の児童さんです。ひよっとしてあなたもその一員だったかも。昨年故障し廃却寸前だったので何がとか修理をしていただきました。子供たちにもこの周りで歌ってもらいたいと思います。

ふるさとの歌の道として29基の石碑が並べられています。ご年配の方は「知っているわい」とおっしゃると思いますが今の小学生、園児にぜひ伝えてください。



見つけたらついつい
押したくなるよね～♪



実はメロディーボックスは、一番立派なものは県立博物館入り口、そして鳥取駅南に「大こくさま」の像、白兔のところにもあります。まちなかを歩きながら昔を思い出したり勝手に妄想にふけるのもいいかもしれません。

鳥取市はウォーカブルな街づくりを目指すようですが、お店とアート作りだけではない、ちよつとした散策ネタもこの街にはあるようです。

編集後記

今年の桜の開花は昨年と比べて遅くなったことで、小学校の入学式を満開の桜の下で迎えることができませんでした。

さて、「まちづくり通信」の発行に多大な尽力をいただいた山根健吾さんから、担当を引き継ぐことになりました。初めての経験なので不慣れな点があるかと思いますが、皆様のご協力をお願い致します。

先日第1回のまち中歩きとして、出会いの森でタケノコ採りが行われました。降水確率が高く実施が危ぶまれましたが、天気も何とかもって実行できました。

昨年と比べ、タケノコを探すのに苦労しましたが、参加者の皆さんも汗をかきながらそれに収穫でき笑顔で終えることができました。

(文責 中島憲啓)

